

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 オイシックス・ラ・大地株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3182 URL <https://www.oisixradaichi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部本部長 (氏名) 熊野 滋 (TEL) 03-6867-1149 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA(※1)		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	57,438	3.6	2,070	23.8	3,234	16.7	2,339	66.3	1,401	57.0
2023年3月期第2四半期	55,450	△1.3	1,672	△50.0	2,771	△33.8	1,406	△57.0	892	△58.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,891百万円(31.4%) 2023年3月期第2四半期 1,439百万円(△37.8%)

(※1) EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	38.33	—
2023年3月期第2四半期	24.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	66,527	28,330	39.6
2023年3月期	64,502	26,140	38.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 26,359百万円 2023年3月期 24,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	126,500	9.8	6,000	79.3	8,000	43.0	3,800	110.2	—	103.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	38,028,092株	2023年3月期	38,028,092株
2024年3月期2Q	1,470,042株	2023年3月期	1,469,994株
2024年3月期2Q	36,558,073株	2023年3月期2Q	36,553,704株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化が進み個人消費の持ち直しの動きがみられました。しかしながら、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇や、世界規模での金融引き締め等の影響による景気停滞懸念は依然として残っており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ主力事業の食品宅配業界につきましては、新型コロナウイルス感染症をきっかけとしたライフスタイルの変化による調理時間短縮ニーズ等は定着してきている一方、経済活動の正常化の中で食品宅配に対する消費者の需要の多様化も進んでおります。

このような環境の中、当社グループにおいては、食を支えるインフラ企業として、安定的な商品供給の確保に取り組むとともに、家庭での食の在り方が大きく変化する中でお客さまの潜在的ニーズをいち早く捉え、満足していただける商品・サービスを提案してまいります。また、経営戦略の柱である「国内宅配事業の成長・収益力強化」に向け、カスタマーエクスペリエンスの進化及びローコストオペレーションの取組みを実行しております。そのほか、国内宅配事業で培ったノウハウを活かし、保育園などの施設へ食材提供を行う「国内B2Bサブスク事業」などへの事業ポートフォリオの拡張、「サステナブルリテール戦略」に基づいたフードロスの削減や温室効果ガス削減への取組みの強化を推進しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は57,438百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は2,070百万円(前年同期比23.8%増)、EBITDAは3,234百万円(前年同期比16.7%増)、経常利益は2,339百万円(前年同期比66.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,401百万円(前年同期比57.0%増)となりました。

① 宅配事業(O i s i x)

インターネットを通じて主に食品・食材の直販を行うO i s i xは、共働きの子育て世代を主要ターゲットとし、プレミアムな時短を実現する商品、サービスを提供しております。

売上高については、ARPU(会員当たり月平均売上高)は新型コロナウイルス感染症の影響による上昇がみられた前年からは低下した一方で、会員数が前連結会計年度(2023年3月期)に実施した大型プロモーションによる効果もあり増加した結果、前年同期と比べ増加しております。セグメント利益についても、2022年1月に発生した物流センター移転時トラブルからのリカバリーコストの解消や、収益力改善施策が奏功していることにより、前年同期と比べ増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	30,740百万円(前年同期比 8.0%増)
セグメント利益	4,053百万円(前年同期比 6.1%増)

② 宅配事業(大地を守る会)

カタログやインターネットを通じて主に食品・食材の直販を行う大地を守る会は、シニアの二人暮らし世帯を主要ターゲットとし、“ちゃんとした食生活”のコンセプトの元、ターゲットニーズに沿った新サービスの開発、磨き上げに注力しております。

売上高については、ARPUは新型コロナウイルス感染症の影響による上昇がみられた前年からは低下したことに加え、会員数が減少した結果、前年同期と比べ減少しております。セグメント利益についても、売上高減少に伴い前年同期と比べ減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	5,731百万円(前年同期比 6.7%減)
セグメント利益	1,149百万円(前年同期比 3.3%減)

③ 宅配事業(らでいっしゅぼーや)

カタログやインターネットを通じて主に食品・食材の直販を行うらでいっしゅぼーやは、料理を通じて社会貢献をしたい世帯を主要ターゲットとし、「ふぞろいRadish」などの商品、サービス開発を進めております。

売上高については、会員数が前年同期と比べて増加したものの、ARPUは新型コロナウイルス感染症の影響による上昇がみられた前年からは低下したため、前年同期と比べ減少しております。セグメント利益については、売上高減少の影響が生じたものの、収益力改善施策の効果がみられたため、前年同期と比べ増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	8,244百万円(前年同期比 1.5%減)
セグメント利益	1,131百万円(前年同期比 0.4%増)

④ 宅配事業(Purple Carrot)

米国で、ヴィーガンに特化したミールキット等の食品宅配事業を展開するPurple Carrotは、事業構造の強化に優先的に取り組んでいます。

売上高については、前年同期と比べ減少しております。また、セグメント利益については収益力改善施策の進捗により、前年同期と比べ増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	4,663百万円(前年同期比 9.8%減)
セグメント損失	164百万円(前年同四半期連結累計期間には173百万円の損失)

⑤ その他事業

当セグメントは、ソリューション事業、保育園卸事業、海外事業(Purple Carrotを除く)等からなるその他事業であります。

他社EC支援(ISETAN DOOR、dミールキット)などのソリューション事業の会員数が増加したことや、保育園への業務用ミールキットを含む食品卸を行う保育園卸事業の取引園数が増加したことにより、全体では売上高・セグメント利益ともに増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	8,966百万円(前年同期比 12.7%増)
セグメント利益	1,084百万円(前年同期比 42.9%増)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2,025百万円増加し、66,527百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して913百万円増加し、31,593百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加2,132百万円、未収入金の減少1,129百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,112百万円増加し、34,933百万円となりました。これは、有形固定資産の増加489百万円、投資その他の資産の増加433百万円、無形固定資産の増加189百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して164百万円減少し、38,196百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して199百万円増加し、26,431百万円となりました。これは主に、未払金の増加272百万円、その他流動負債の減少66百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して364百万円減少し、11,765百万円となりました。これは主に、リース債務の減少352百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して2,190百万円増加し、28,330百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,401百万円、非支配株主持分の増加428百万円、為替換算

調整勘定の増加311百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、16,845百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、3,311百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,338百万円、減価償却費1,028百万円、のれん償却額136百万円、売上債権の減少額244百万円、未収入金の減少額1,129百万円、未払金の減少額428百万円、法人税等の支払額696百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、1,192百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出371百万円、無形固定資産の取得による支出590百万円、投資有価証券の取得による支出223百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、88百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減少額25百万円、非支配株主からの払込みによる収入300百万円、リース債務の返済による支出347百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日付「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,775	16,907
受取手形	—	5
売掛金	9,626	9,372
商品及び製品	1,802	1,961
仕掛品	77	150
原材料及び貯蔵品	599	531
未収入金	3,147	2,017
その他	886	928
貸倒引当金	△234	△282
流動資産合計	30,680	31,593
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	11,641	11,296
その他(純額)	4,758	5,592
有形固定資産合計	16,399	16,888
無形固定資産		
のれん	1,190	1,156
その他	2,419	2,643
無形固定資産合計	3,609	3,799
投資その他の資産		
投資有価証券	11,450	11,817
その他	2,361	2,427
投資その他の資産合計	13,812	14,245
固定資産合計	33,821	34,933
資産合計	64,502	66,527
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,309	6,264
短期借入金	10,060	10,035
1年内返済予定の長期借入金	27	22
リース債務	705	737
未払金	5,914	6,186
未払法人税等	831	872
契約負債	397	377
賞与引当金	—	1
ポイント引当金	80	94
その他	1,906	1,839
流動負債合計	26,231	26,431
固定負債		
長期借入金	74	64
リース債務	11,293	10,940
役員退職慰労引当金	9	9
資産除去債務	554	556
繰延税金負債	21	19
その他	176	174
固定負債合計	12,130	11,765
負債合計	38,361	38,196

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,995	3,995
資本剰余金	8,016	8,016
利益剰余金	16,255	17,657
自己株式	△4,503	△4,504
株主資本合計	23,764	25,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	204
為替換算調整勘定	677	988
その他の包括利益累計額合計	832	1,193
非支配株主持分	1,542	1,971
純資産合計	26,140	28,330
負債純資産合計	64,502	66,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	55,450	57,438
売上原価	28,523	28,790
売上総利益	26,926	28,648
販売費及び一般管理費	25,254	26,577
営業利益	1,672	2,070
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	4
受取補償金	9	10
持分法による投資利益	—	26
投資事業組合運用益	—	278
その他	30	22
営業外収益合計	40	343
営業外費用		
支払利息	58	68
為替差損	—	4
持分法による投資損失	191	—
その他	56	1
営業外費用合計	306	74
経常利益	1,406	2,339
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
投資有価証券評価損	—	7
特別損失合計	—	7
税金等調整前四半期純利益	1,406	2,338
法人税、住民税及び事業税	627	741
法人税等調整額	△42	△17
法人税等合計	584	723
四半期純利益	821	1,615
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△70	213
親会社株主に帰属する四半期純利益	892	1,401

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	821	1,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	△42
為替換算調整勘定	598	295
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	23
その他の包括利益合計	617	276
四半期包括利益	1,439	1,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,510	1,762
非支配株主に係る四半期包括利益	△70	128

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,406	2,338
減価償却費	974	1,028
のれん償却額	124	136
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23	47
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	1
受取利息及び受取配当金	△0	△4
支払利息	58	68
為替差損益(△は益)	1	1
持分法による投資損益(△は益)	191	△26
投資事業組合運用損益(△は益)	—	△278
投資有価証券評価損益(△は益)	—	7
売上債権の増減額(△は増加)	186	244
未収入金の増減額(△は増加)	△148	1,129
棚卸資産の増減額(△は増加)	17	△193
仕入債務の増減額(△は減少)	133	△13
未払金の増減額(△は減少)	△872	△428
未払費用の増減額(△は減少)	△22	88
その他	171	△228
小計	2,200	3,915
利息及び配当金の受取額	0	160
利息の支払額	△6	△68
法人税等の支払額	△99	△696
供託金の預入による支出	△800	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,294	3,311
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△207	△371
無形固定資産の取得による支出	△371	△590
投資有価証券の取得による支出	△180	△223
関係会社株式の取得による支出	△669	—
敷金及び保証金の差入による支出	△4	△0
敷金及び保証金の回収による収入	80	0
その他	△3	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,356	△1,192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,000	△25
長期借入金の返済による支出	△20	△14
株式の発行による収入	2	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	300
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△352	△347
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,629	△88
現金及び現金同等物に係る換算差額	405	94
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,974	2,124
現金及び現金同等物の期首残高	13,033	14,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,008	16,845

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	宅配事業 (Oisix)	宅配事業 (大地を 守る会)	宅配事業 (らでいっし ゅぼーや)	宅配事業 (Purple Carrot)	計			
売上高								
日本	28,458	6,141	8,370	—	42,970	6,852	—	49,822
米国	—	—	—	5,150	5,150	—	—	5,150
その他	—	—	—	—	—	476	—	476
顧客との契約から生じる収益	28,458	6,141	8,370	5,150	48,120	7,329	—	55,450
外部顧客への売上高	28,458	6,141	8,370	5,150	48,120	7,329	—	55,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	20	20	629	△649	—
計	28,458	6,141	8,370	5,171	48,141	7,958	△649	55,450
セグメント利益又は損失 (△)	3,821	1,188	1,126	△173	5,963	759	△5,050	1,672

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソリューション事業・店舗事業・海外事業(Purple Carrotを除く)・卸事業等を含んでおります。

2. 「調整額」のセグメント利益における主な内容は、固定人件費及び各事業セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	宅配事業 (Oisix)	宅配事業 (大地を 守る会)	宅配事業 (らでいっし ゅぼーや)	宅配事業 (Purple Carrot)	計			
売上高								
日本	30,740	5,731	8,244	—	44,716	7,764	—	52,480
米国	—	—	—	4,644	4,644	—	—	4,644
その他	—	—	—	—	—	313	—	313
顧客との契約から生じる収益	30,740	5,731	8,244	4,644	49,360	8,077	—	57,438
外部顧客への売上高	30,740	5,731	8,244	4,644	49,360	8,077	—	57,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	18	18	888	△907	—
計	30,740	5,731	8,244	4,663	49,379	8,966	△907	57,438
セグメント利益又は損失 (△)	4,053	1,149	1,131	△164	6,169	1,084	△5,183	2,070

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソリューション事業・保育園卸事業・海外事業(Purple Carrotを除く)を含んでおります。

2. 「調整額」のセグメント利益における主な内容は、固定人件費及び各事業セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。